

令和2年度 食品検査状況

1 残留農薬

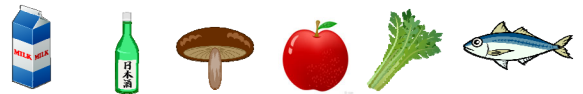


令和2年度は、野菜や果実、畜肉等の農畜産物100検体（国産品80、輸入品20）について延べ9,660項目の残留農薬検査を行いました。検査の結果、100検体中50検体（検出率50%）から延べ100農薬が検出され、このうち2検体（県内産ほうれん草及び輸入冷凍えだまめ）が食品衛生法に定められている残留基準を超えていました。

残留農薬検査結果の概要

	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	30	3,600	10	1,200	40	4,800
果実	20	2,400	10	1,200	30	3,600
玄米	10	1,200	-	-	10	1,200
畜肉	20	60	-	-	20	60
合計	80	7,260	20	2,400	100	9,660
農薬検出数	32	66	18	34	50	100
検出率(%)	40%	1%	90%	1%	50%	1%
残留基準超過数	1	1	1	1	2	2

2 放射性物質



令和2年度は、流通品の一般食品、牛乳及び乳児用食品、飲用水の190検体、および野生の山菜ときのこの73検体について放射性物質（放射性セシウム）の検査を行いました。その結果、流通品については190検体中2検体から放射性セシウムが検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。また、野生山菜（4～5月実施）については57検体中9検体から、野生きのこ（8～10月実施）については16検体中8検体から放射性セシウムが検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。

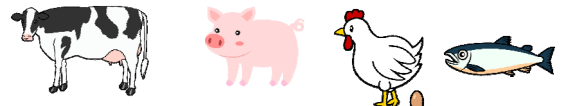
流通品の検査結果

	検体数	検出数	検出率	基準超過検体数	基準値(Bq/kg)
一般食品	172	0	0%	0	100
牛乳及び乳児用食品	8	2	25%	0	50
飲用水	10	0	0%	0	10
計	190	2	1%	0	-

野生山菜・きのこの検査結果

	検体数	検出数	検出率	基準超過検体数	基準値(Bq/kg)
山菜	57	9	16%	0	100
きのこ	16	8	50%	0	
計	73	17	23%	0	-

3 動物用医薬品



動物用医薬品の検査結果

令和2年度は、県内産さけ目(2検体)、県内産鶏卵(9検体)、県外産魚類(1検体)、輸入魚類(4検体)、輸入肉類(豚肉6検体)について延べ968項目の動物用医薬品の検査を実施しましたが、食品衛生法に定められた基準値を超えたものはありませんでした。

	品名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産	さけ目	2	90	基準超過 なし
	鶏卵	9	396	
県外産	その他魚類	1	44	
輸入	さけ目	4	180	
	豚肉	6	258	
合計		22	968	

4 食品添加物

令和2年度は、保存料13検体、酸化防止剤9検体、着色料9検体、甘味料9検体について、検査を行いました。その結果、使用基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査の概要

種類	検体数	検査項目	検査結果
保存料	13	安息香酸、ソルビン酸、 パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準違反なし
酸化防止剤	9	tert-ブチルヒドロキノン	
着色料	9	食用赤色2,3,40,102,104,105,106号 黄色4,5号、緑色3号、青色1,2号	
甘味料	9	サイクラミン酸	
合計	40		



5 遺伝子組換え食品

令和2年度は、大豆粒（6検体）を対象に検査を行いました。その結果、安全性審査済み組換え大豆 RRS が検出された食品はなく、表示が適正に行われていることが確認されました。

遺伝子組換え食品（大豆粒）の検査結果

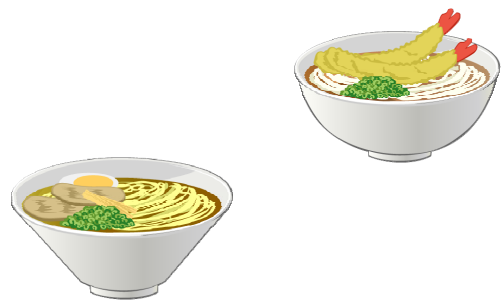
品名	検体数	検査項目	結果
大豆	6	安全性審査済の組換え大豆のRRS検査	不検出

6 アレルギー物質

令和2年度は、「そば」混入のおそれのある小麦粉食品6検体及び「小麦」混入のおそれのある米粉食品等4検体（いずれも県内製造）の計10検体について、抗原抗体のキットによる定性試験を実施しました。その結果、そば、小麦とも陽性反応を示すものはなく、表示違反の食品はありませんでした。

アレルギー物質の検査結果（そば）

品名	検体数	そば陽性
中華めん	3	0
ゆでうどん	1	0
乾麺	2	0
計	6	0



アレルギー物質の検査結果（小麦）

品名	検体数	小麦陽性
米粉めん	1	0
米粉	1	0
菓子	2	0
計	4	0



作成：岩手県環境保健研究センター 衛生科学部
図：illust image (<https://illustimage.com/>)